

平成20年11月

お取引様 各位

全国米穀販売事業共済協同組合

米穀卸売業の現況について

弊組合は、米穀卸売業者200社近くを組合員とする全国団体であります。平素は、私どもの組合員とお取引いただき、厚く御礼申し上げます。

組合員は、常日頃、原料米の調達に創意工夫を凝らしながら、皆様の多様なご要求に応えられるよう努めておりますが、米の仕入れ・製造を巡る情勢は様変わりしつつあります。

先ず仕入れ面におきましては、取引の指標となる価格の形成が期待されている（財）全国米穀取引・価格形成センターにおいて、平成20年産はほとんど上場されず、落札実績がありません。こうした中で、主たる仕入れ先である全国農業協同組合連合会の平成20年産米の販売価格は、国際的な原料価格の高騰による肥料、光熱動力価格の上昇等に対応して、平成19年産に比べ1,200円/60kg前後値上がりしております。

また、精米の製造段階でも、電力料金や米袋費の値上がり、さらには安全・安心確保のための設備投資の拡大により、コストは増加しております。

卸売業界としましては、このようなコスト増加を可能な限り経営の合理化により吸収するよう努力して参りましたが、それも限界に近い状況にあります。

一方、平成20年産米につきましては、作況指数102の豊作となりましたが、引き続き消費が堅調に推移し、豊作分の政府買入が行われれば、需給は概ね均衡すると見込まれております。

今後とも、信頼のおける仕入先を厳選しながら、良品質の精米製品の販売に組織を挙げて取り組んで参る所存でありますので、お取引価格をご検討いただくに際しましては、以上の諸事情にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

参考

1. 20年9月農業物価指数(17年基準)

区分	肥料(指数)	光熱動力(指数)
20.09	153.6	157.8
19.09	109.0	118.7
対前年同月 騰落率(%)	40.9	32.9

資料:農林水産省(平成20年10月31日公表):農業物価指数(20年9月)

2. 全農相対取引基準価格

(単位:円/60kg)

年産	宮 城	秋 田	栃 木	新 潟
	ひとめぼれ	あきたこまち	コシヒカリ	コシヒカリ(一般)
20	14,800	14,800	15,000	17,000
19	13,522	13,519	13,610	15,800
20-19	1,278	1,281	1,390	1,200

注:20年産は直近時、19年産は前年同時期の価格で、東京基準の裸、1等、消費税抜き価格。

3. 精米の製造費用(指数は17年基準)

年.月	1. 電力料金(指数)	2. 米袋費(指数)
20.09	113.3	155.8
19.09	106.0	128.6
対前年同月 騰落率(%)	6.9	21.2

資料:日本銀行情報サービス局

1. 電力:国内企業物価指数/電力・都市ガス・水道、スクラップ類、(参考)夏季電力料金調整後
2. ポリエチレン(高密度):国内企業物価指数/化学製品、プラスチック製品

4. 米穀機構会員卸売業者の設備投資総額

(単位:億円)

年度	設備投資額
19	91
18	110
17	50
16	69
15	94

資料:米穀機構((社)米穀安定供給確保支援機構)調べ